



製造業のDX変革を加速する 生成AI活用トータルソリューション 悟空プログラム

AIデータ株式会社とイーディーエル株式会社による
製造業向けの生成AI活用ソリューションをご紹介します。



AIDATA

イーディーエル株式会社

製造業DX後の理想の姿

① リアルタイムなデータの活用

現場データがリアルタイムに収集、可視化され、データを基にした意思決定と予測分析で先手を打った経営判断ができています。

② イノベーションを創出

生成AIを活用した業務プロセスの刷新により人的リソースを創造的業務へシフトし、組織全体の生産性と創造性を高められています。

③ 競争力のある付加価値

AIがデータから隠れた顧客ニーズを発掘し、競合が気づく前に先手を打つことができています。また独自のアイデアを資産化し保護と収益化を同時に実現できています。

多くの製造業が直面している **現状** - 貴社は大丈夫ですか？

データが「紙」

- 重要な業務データが紙の書類で管理されている
- 部門ごとに異なるシステムでデータが分断されている
- リアルタイム分析ができず、過去データの活用も限定的
- 属人化問題が生じている

AI・DX推進の障壁

- デジタル技術に精通した人材が不足している
- 経営層のビジョンと現場の実行に乖離がある
- 高額な初期投資への懸念がある
- 導入したツールを社員が効果的に使いこなせず、想定した投資効果が得られていない

業務プロセスの課題

- アナログな業務フローによる非効率性がある
- データ連携の欠如による重複作業、属人化問題が発生している
- 意思決定の遅延とイノベーション機会の喪失が起きている

なぜ、未だに理想の状態を実現できていないのか - 以下の課題に心当たりはありませんか？

データ基盤の課題

- 紙ベースの業務からの脱却が進んでいない
- 既存データの統合・活用の仕組みがない
- セキュリティを確保したデータ活用環境が欠如している



人材と組織の課題

- DX推進を担うリーダーの不在または育成不足
- 社内全体のデジタル対応力が成熟していない
- 無意識の現状維持バイアスが変革の妨げになっている

実行と持続の課題

- DXを成功に導くには戦略的ビジョンと実行ロードマップが不明確
- 専門家による継続的な支援が不足
- 導入技術の価値を測定する適切な指標設定も確立されていない

悟空の進化 - デジタル変革の旅

西遊記になぞらえた製造業の DX進化モデル

製造業のデジタル変革を「悟空の冒険」になぞらえた3段階の進化モデルをご提案します。

各段階で直面する課題を乗り越え、新たなデジタル能力を獲得していきます。「修行」「天宮」「斉天大聖」の3フェーズを通じて、真の競争力を手に入れましょう。



第1の難関(修行フェーズ)

変革への道の第一歩。長年積み重ねてきたアナログの慣習と対峙し、デジタルの流儀を体得する基礎修練の時。紙と手作業の安心感に別れを告げる勇気が試され、古い思考の重力と新たな可能性の引力が激しく衝突します。

この最初の難関で生まれる摩擦と抵抗を乗り越えた先に、真の効率化と創造性の解放が待っているのです。



第2の難関(天宮フェーズ)

雲上の神殿へと足を踏み入れる段階。デジタルの叡智が日常に溶け込み、蓄積された知恵の結晶たるデータが組織全体を照らします。点在していた情報の星々が一つの銀河系へと統合され、これまで見えなかったパターンと洞察が姿を現します。この天界で真のデータ活用の術を会得した者だけが、次なる高みへの道を切り拓けるのです。



第3の難関(斉天大聖フェーズ)

業界特化型AIエージェントを自在に操る究極の段階。組織全体が一心同体となり、デジタルと人間の英知が融合。業界の常識を覆す独自の知性で競争が追従できないスピードと精度を実現し、「誰もが目指す、誰も真似できない」リーディングカンパニーへと飛翔します。



私たちのソリューション

第1段階: Google 10X活用によるデジタル基盤構築

紙ベースの業務が中心の企業向け。半年後には Google を活用したペーパーレス化と情報共有の仕組みが定着します

第2段階: 生成 AI エージェント「AI孔明」の活用

基本的なデジタル化はできているがデータ活用が進んでいない企業向け。データ駆動型経営ができる状態になります

第3段階: 業界特化型 AIソリューションの開発

データ活用基盤を確立した企業向けの次のステップ。業界特有の課題に特化したAIモデルを開発し、独自の知見とソリューションで市場をリードする競争優位性を確立できます

各段階ごとに半年間のカスタマイズされた伴走支援で、確実に自走化を実現

私たちの強み



3省3ガイドライン準拠

セキュアなデータ環境を提供します。政府のガイドラインに準拠した安全なシステムです。



既存システムとの柔軟な連携

統合プラットフォームにより、現在お使いのあらゆるデータとスムーズに連携できます。



自走を前提とした半年間の伴走型支援

確実な成果創出のため、専門家が半年間しっかりサポートします。

AIデータ株式会社 (AI技術とデータ活用の専門家) とイーディーエル株式会社 (Google認定研修パートナー) の強力な連携により、最適なソリューションを提供します。



 **IDEX AI孔明™**

充実の半年伴走プログラム

第1ステップ:

現状把握と実装(1ヶ月目)

- DXスキルセルフチェック診断
- 半年後の目標達成のための提案
- 必要なツール・環境の実装と社内DXリーダー向けキックオフ研修の実施

第2ステップ:活用定着と運用ルール確立(2~3ヶ月目)

- DXリーダー育成プログラムの本格始動
- 実際の業務課題を用いた実践的な研修プログラム
- 新ツール・手法による業務プロセス改善と運用ルール策定

第3ステップ:

自走化支援(4~6ヶ月目)

- 部門横断での活用事例共有と水平展開
- 社内での持続可能な運用・発展体制の確立
- 次ステップへのロードマップ策定と自走状態の評価

経営層のコミットメントと明確なビジョン共有が成功の鍵です。

社内のDXリーダーの選定・育成と半年間の伴走支援により、確実なスキルと知識の定着を実現します。

The Cost-benefit when your all the Digital transformation formation abitud you services flutyous.



Sign you cenefors tran the digital transforaion services the services

Learn the online Kollon as is your ase Digt the o market and hat conyitaton opy'fins (Transformation canaling Iradic.

Cost ur ROI

Look usboals for analys

156%

Feedrae your reastional nepporomants for ability and mantalence

The 800% to onigitat theazins tams thens and lervatoin your canoenation, sbhand diginits turou de tamighal rsrand tane ROI.

Drantc benefit compitioned digitan oigents of your enagement digitng and devices and services



785

Fick an your loost will contrmational ceaver reavtion wat at the an'giall servcs

料金体系と投資効果

**プランA: 半年間伴走型
DX支援(推奨)**

初期費用: 33万円 (+α)

AI孔明+IDX導入費 (+GWS)

月額費用: 33万 + 4.4万円

伴走支援料 + AI孔明+IDX

合計投資額: 約300万円~

**プランB: 短期集中型
DXキックスタート**

伴走なしで自社主導でのDX推進を希望する企業向け

内容: 2日間×6時間の集中研修プログラム

合計投資額: 約100万円~

※リスクリング助成金活用可能

段階別の半年後の効

- 第1段階: ペーパーレス化50%、承認プロセス時間75%短縮
- 第2段階: データ分析時間60%削減、意思決定精度向上
- 第3段階: 製造業特有の課題解決、競争優位性確立

お問い合わせ

AIデータ株式会社 × イーディーエル株式会社

お客様の状況を詳しくヒアリングさせていただき個別DX診断を無料で実施しています。お気軽にご連絡ください。



2525プロジェクト

日本企業のDX化を加速する全国規模の取り組みです。各専門ソフトウェア企業やSaaS企業と連携し、商工会議所に参加する企業のDX化を最短かつ高品質で実現することを目指しています。



目標

2025年度末までに国内、25万社のDX化を実現し、日本経済の復興を目指します

対象

中小企業を含む全国125万社の企業を対象とした大規模なデジタル変革です

基盤

企業の全データをAIで一元管理し、必要な情報に即座にアクセスし活用可能な環境を構築します

効果

国内25万社にデジタルの翼を授け、世界で再び輝く「日本の底力」を解き放ちます